

① つぎの文の()にあてはまる語句を下から選び、記号で答えよ。

商品には、形のある(1)と形のない(2)がある。これらの商品が売り買いされる場を市場といい、社会のすみずみまで市場がはりめぐらされている経済を(3)という。家庭では、家族の中の誰かが労働などで収入を得て、その収入で商品を買う。このような家庭の経済活動を家計という。家計の収入は(4)ともいい、ここから食費、光熱費、(5)、教育費などの(6)や、国や地方公共団体への(7)を差し引いた残りの部分を(8)という。(8)は将来の支出にそなえて(4)をとっておくもので、銀行預金や(9)の支払いなどもこれにふくまれる。

- ア 混合経済 イ 市場経済 ウ 計画経済 エ 消費支出 オ サービス
カ 財 キ 所得 ク 貯蓄 ケ 税金 コ 医療費 サ 生命保険料

① 【各 4 — 36点】

(1)		(2)	
(3)		(4)	
(5)		(6)	
(7)		(8)	
(9)			

② つぎの問いに答えよ。

- 所得のうち、会社や工場などに勤務して得られる賃金などによるものを何というか。
- 所得のうち、個人で農業や工場、商店などを自営して得られるものを何というか。
- 所得のうち、土地や建物を貸すことで得られる地代や、預貯金や、株式からの利子や配当などの収入などがふくまれるものを何というか。
- 商品の、需要量と供給量がちょうど同じになる価格を何というか。
- 少数の大企業が生産や販売市場を支配している状態を何というか。
- 独占価格や不公正な取り引きによって消費者や中小企業が被害を被らないためにつくられた法律は何か。
- 公共料金とは、電気や水道など、生活に欠かせないものの料金で、企業が自由に価格を決めることはできない。つぎのうち、地方公共団体が決定するものはどれか。一つ選び、記号で答えよ。

- ア 郵便料金 イ 電気料金 ウ 公営水道料金 エ 都市ガス料金 オ 鉄道運賃

- 商品が、生産者から運送業者によって卸売業者や小売業者に運ばれ、消費者のもとに届く、このような商品の流れを何というか。

② 【各 5 — 40点】

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

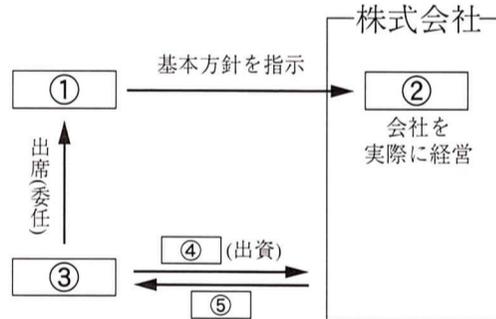
③ 株式会社について、つぎの問いに答えよ。

- 右の図の□にあてはまるものを、つぎから選び、記号で答えよ。

- ア 株式 イ 株主 ウ 配当
エ 株主総会 オ 取締役会

- 株式会社が倒産などをした場合、株主はどのような責任を負うか。つぎから選び、記号で答えよ。

- ア 負債の額を人数で均等に分け、全額を返済する。
イ 出資した額を失うが、それ以上の責任は負わない。
ウ 持ち株数に応じて賠償金を支払う。



③ 【各 2 — 12点】

(1)	①
	②
	③
	④
	⑤
(2)	

④ つぎの各文の説明にあてはまる法律を下から選び、記号で答えよ。

- 労働者と企業経営者間の紛争の解決をうながすことを目的としている。
- 労働者と企業経営者間の交渉において、両者が対等の立場に立つことによって、労働者の地位を向上させることを目的としている。労働三権の保証が、そのおもなものである。
- 家事・育児などで、採用・賃金・昇進などで不利な扱いを受けやすい女性労働者の地位を保全し、差別的な扱いを受けないように定め、さらにその地位の向上をめざしている。
- 女性の政治参画や、男性の育児・介護参画などを明確に規定し、男女が対等な構成員として社会のありように責任をもつことを求めている。
- 労働者の最低限の労働条件(賃金、労働時間、休日など)の保証や、労働者を国籍・信条・性別などで差別的に取り扱ってはならないことなどを定めている。
- 企業の規模の大小から生ずる、企業間のさまざまな格差の是正——賃金、労働条件、市場での競争力、資金調達力など——をめざしている。

- ア 男女雇用機会均等法 イ 独占禁止法 ウ 労働基準法 エ 労働組合法
オ 労働関係調整法 カ 中小企業基本法 キ 男女共同参画社会基本法

④ 【各 2 — 12点】

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)